

# プロの技に感服

▼新聞の作成法を中日新聞社の原さんに聞く新聞部員



## 中日新聞社と コラボ紙面作成



速報新聞

### キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

### 新聞部

彦根市金亀町4番7号

11月15日に本校新聞部員8名が愛知県名古屋市中日新聞本社にて、中日新聞本紙びわこ版のうちの1面を作らせていただいた。なおその紙面は11月22日に掲載される予定である。

### 本社の機材で

### 紙面修正

本校新聞部の土田浩也君(2-1-7)が9月に中日新聞によって行われた『移動読者応答室』に参加したことを契機として、今回、彦根東高校新聞と中日新聞のコラボレーションが企画された。土田君は若者の新聞離れに対する鋭い意見を述べたことが評価された。



◀見出しを手直しする新聞部員

中日新聞本社に到着した新聞部員たちは、まず中日新聞の地方部滋賀担当の阿世比丸靖司さんを中心に、見出しなどの紙面の改善点を挙げていただき、2つのグループに分かれてそれぞれが提示された点を修正した。中日新聞の方からもさまざまなアドバイスをいただき、新聞部員たちは見出しの作り方や、記事の書き方を学んだ。次に、改善した箇所の記事に反映させるために中日新聞のパソコンを使わせていただいた。新聞部員たちもプロの機材を使うことは初めてのことであったため、緊張しながらもデータを入力した。

### 多くのことを学ぶ 貴重な体験だった

先月発行された彦根東高校新聞10月号を読んで、中日新聞社彦根支局長の原一文さんは「アンケート調査などがしっかりとされているおもしろい新聞だった。新聞記者の目線から読んでも興味深かった」と笑みを浮かべられた。

また新聞部員の白木輝君(1-1-7)は「新聞社の方で見出しの校正について話し合ったり、新聞の作り方を教えていただいたりすることはこの先あまりできない事だと思っほんとうに貴重な体験ができた」と、國領真央さん(1-1-4)は「プロの技を目の前で見ることができ、多くのことを学ぶことができた」とそれぞれ感想を話した。



▶新聞社の機材を使って新聞作成